

こころの病や精神障害のある方も避難されています。

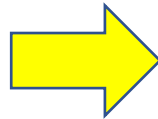


困りごと

お手伝いのポイント



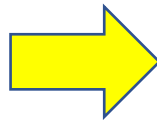
・外見からは障害がわかりにくく、周りから誤解されることもあります。



・本人にしかわからない不快感があるので、本人の気持ちや要望をゆっくり聞き取りましょう。
・困っていることを聞き取り、必要な支援を確認しましょう。



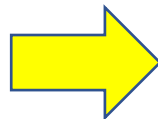
・コミュニケーションが苦手で、困っていることがなかなか伝えられないこともあります。



・まずは、個別にゆっくりと話しかけましょう。
・「ゆっくり」「ていねいに」「くりかえし」、そして、「わかりやすい言葉」を使い、あいまいな表現（「あれ」「これ」など）はさけ、具体的な内容を伝えましょう。



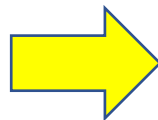
・集団生活のペースやルールにとまどってしまう場合があります。



・できるだけ孤立しないように、配給など重要な情報が伝わっているかをこまめに確認します。



・ストレスに敏感なことが多く、症状が悪化する場合があります。



・常時服薬している人は、薬がなくなることへの不安もあります。
・本人や家族などから状況を確認したうえで、医師に連絡が必要な場合もあります。

